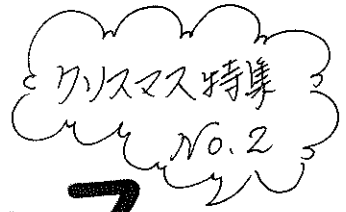


金城学院幼稚園

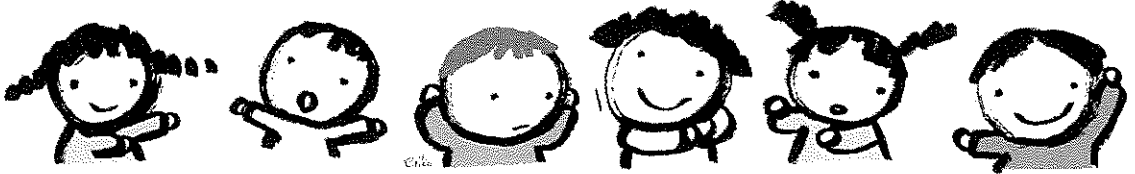
2024年度



こどもニュース

No. 15

11.28 発行



【本当に大切な物は目に見えない】

「たいせつなことはね、目にみえないんだよ」

これはフランスの作家、サン＝テグジュペリの童話「星の王子様」の中に出てくる言葉です。

飛行士の「僕」は砂漠に不時着し、たった一人で飛行機を修理しています。すると他の惑星から来た王子様が現れ、二人は様々な話しをしながら心を通わせていきます。

王子様は自分の惑星を出発してからの様々な体験を語るのですが、地球で出会ったきつねから「心で見ないと物事はよく見えない。肝心なことは目に見えない」ということを教わったと話すのです。

さて幼稚園で日々大切に育てたいと思っていることも「目にみえない」ものばかりです。「おともだちがだいすき!」という人を信頼する気持ち、「やってみたい!」という意欲、自分で判断したり考えたりする主体性や思考力、「今度こそ!」という粘り強さなど、どれも形あるものとして私達が見えるわけではありません。しかし心の目で見れば、お友達と誘い合ってブランコに走っていく姿に、毎日毎日繰り返し鉄棒にぶら下がり逆上がりに挑戦する姿に、ケンカしている仲間に「どうしたの?」と声をかけている姿に「目には見えない大切なもの」の育ちを感じることがができます。その一つ一つを見逃さないように心の目をみがなくては...と思っています。

【待ち望む】

幼稚園では27日水曜日の合同礼拝からアドベントに入り、クランツのろうそくに火が灯されました。「アドベント」とはラテン語で「来る」という意味です。

先日の子どもニュースのクリスマス語録でもお伝えしましたが、これからの1か月間を、子ども達は、救い主イエス様の降誕を「待ち望む」期間として過ごすのです。

こども達に渡した「クリスマスブック」に「かみさまのおやくそく」という讃美歌が載っています。「♪昔、ユダヤの人々は、神様と約束した救い主のお生まれを何百年も待ちました♪」という歌詞です。

何世代にもわたって、待って、待って、待って、待ち望む…。その中でイエス様のご降誕だったと思うと、いつも現代を生きる私達の生活の中に「待ち望む」という気持ちを経験することがどのくらいあるのだろうか、と考えます。

物質も情報も溢れるほど周りにはあり、「お待たせしません!」「今すぐ!」「スピード感を持って」ということが最優先される世の中です。悪いわけではないのですが、同時に本当に必要なのか、すぐに手にいれなければならないものなのか、と丁寧に考えている時間は少なくなっている気がします。「とりあえず」手元に置かないと安心できないような生活のスピードに巻き込まれがちですが、本当に大事なものは目に見えにくく、また手に入りにくいものではないでしょうか。

気ぜわしい季節になるからこそ、少しずつ進めること、自分の歩む一步一步を確認すること、そして「待つ」ことを大事にするような日々をしたいと思っています。エントランスやクラスの入口に園芸さんのリースが飾られていきます。お部屋ではアドベントカレンダーに毎日少しずつお星さまが付き、礼拝では毎週1本ずつクランツに灯されるろうそくが増え、讃美礼拝のハレルヤが進んでいくと、子ども達の歌声が園のそこここから聞こえるようになり…。

いっきに華やかな飾りやイルミネーションに彩られるのではなく、そのようにして日一日と一か月もの時間をかけて本当のクリスマスに向かうアドベントを大事に丁寧に過ごし、イエス様のご降誕を待ち望みたいと思っています。

そして神様の愛も目に見えるものではありませんが、讃美礼拝に向かうこども達の姿を通して「本当に大切なもの」を感じたいと思います。





クリスマスブックについて

讚美礼拝の準備（ハレルヤ）が始まり、子どもたちはクリスマスブックを受け取りました。自分の名前が書いてあるクリスマスブックには一人ひとりが担う言葉や歌が載っています。前号のこどもニュースにも記載しましたが、クリスマスの準備を進めるハレルヤで使用するものですので、毎日リュックに入れて幼稚園に持ってきてください。また12月に入ってから、保護者のみなさんも讚美歌練習という「ハレルヤ」があります。その時には、子どもたちからクリスマスブックを借りてご参加ください。

年長児はクリスマスブックを受け取ると、何度も自分の担う役のページを開き、「ここが私のところだよ！」と友だち同士で見せ合って嬉しそうにしていたり、同じ役の友だちと「2回、音を鳴らすんだよねー」と確認しあったりしていました。中には「ここはまだ覚えてない…」と繰り返し読んでいる子もいました。子どもたちにとっては特別な本のようにです。年中さんと年少さんも、憧れの年長さんと同じクリスマスブックがもらえる日を心待ちにしていましたよ。

保護者の方はぜひ讚美歌練習にご参加ください♪そしてアドベントの期間、子どもたちと一緒にクリスマスブックを見ながら、おうちでロズさんでみてくださいね。イエス様のお誕生を待ち望む気持ちを分かち合えたら嬉しいです。

このクリスマスブックは幼稚園で何十年も前から(!!)使われているものです。毎年毎年、子どもたちの思いや希望を受け止めながら少しずつ改訂を重ねてきました。例えば、ある年『天使』では「言葉よりも歌が歌いたい」という希望が出たことがあり、子どもたちの意見で「両方あってもいい」と決まりました。讚美礼拝は劇ではありませんから、イエス様の誕生を喜び迎える姿を聖書にそって表せば、役柄によっては言葉を増やしたり、衣装のある限り人数を調整したりして、子どもたちの希望や思いがなるべく叶うようにと考えています。

またこの先、一人ひとりが言葉を覚えていく中で言いまわしや表現がクリスマスブックとは少し変わるところが出てくるかもしれません。それは子どもたちが、その役柄を身体を通して理解した時、クリスマスブックに出てくる言葉は単なる「台詞」ではなくイエス様の誕生を祝う、子どもたち自身の「心の言葉」として表現されるからだと思います。

讚美礼拝当日は子どもたちの心のこもった言葉に耳を傾けていただき、共に讚美の時間を過ごしましょう。

【お願い】

クリスマスブックは役柄の決定前に印刷、製本を行っています。子どもたちがクリスマスブックを持ち帰った時に、今年度の変更箇所の書き換えを各自でお願いいたします。(年長児は変更済みです。)

P5 ★ひつじかい

きょうはしずかなよるだね。

こんやはここでやすもうか。

↓

★ひつじかい

きょうはしずかなよるだね。

ひつじたちも あつまってきたね。

こんやはここでやすもうか。

P6 ★さんびか「そらにはてんしの」 うたうてんし

↓

★さんびか「そらにはてんしの」 てんし

♪さんびか「もろびとこぞりて」

今年度は、1番から4番を歌った後、4番を繰り返します。





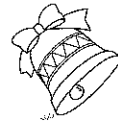
クリスマスのうた



こんな歌を歌っています♪



ジングル・ベル



☆クリスマスのおたが
きこえにくるよ☆

作詞・作曲
新沢としこ



